

## 第5回

[日 時] 令和2年11月14日（土）18:30～20:30

[場 所] 東松島市矢本西市民センター

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～

[使用したテキスト] 『耕人』第9-5号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[当日の流れ] ①塾長挨拶 ②講話 ③個人・グループ活動 ④講評

[活動内容詳細]

### ●塾長挨拶（木村塾長）

開会に先立ち、木村塾長より、3つお話がありました。



一つ目は「コロナ禍」について触れ、皆で気をつけながら、第9期を終えたいということ。

二つ目は、元塾生の活躍に触れ、「ここでやっていることを自分の成長につなげてほしい」という願いを。

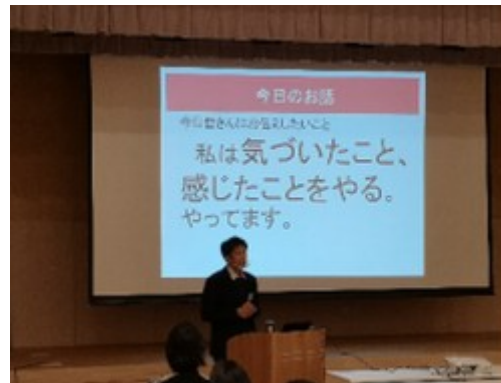
最後は、福沢諭吉「学問のすゝめ」14編「心事の棚卸」から、「生まれてから今日に至るまで自分は何事を成してきたか、今は何事ができるか、今後何事をすべきか」という部分を引用し、我が身を点検することの大切さ、そして次回閉塾式に向けて振り返る際の心構えを示しました。

### ●講話（講師：NPO法人 にじいろクレヨン 代表 柴田 滋紀 氏）

石巻に生まれ育ち、画家として活動している柴田さん。現在は石巻を中心とした子どもの遊び場・居場所づくりのために立ち上げたNPO法人「にじいろクレヨン」の代表を務めています。塾生に届けたいメッセージ、「私は気づいたこと、感じたことをやる。やっています。」は、柴田さんの震災後の取組とリンクし、塾生の心に響きました。

きっかけは東日本大震災。3.11当日、消防団として住民に避難を呼び掛け、更には津波の惨状後、がれきの中で人命救助にあたった柴田さん。その後、避難所に身を寄せていた時、子供たちが我慢を強いられていることに気付き、自分に何かできることはないかと考えました。柴田さんは、絵画教室や学校での非常勤講師の経験を生かし、避難所に子供の遊び場・居場所づくりを始めます。その活動は、避難所から仮設住宅、そして復興住宅に移り変わっても続けられます。「安心していい、あなたはあなたらしくいればいい」と言うメッセージは、震災後、心がすさんだ子どもたちをはじめ、延べ6万人の子どもたちの笑顔をつくります。

自分で考え、自分の意思で動く。そこに生きていることと幸せを感じる。人の笑顔のために迷いなく動く柴田さんの言葉や生き方は、実践活動を進める塾生の背中を力強く後押ししてくれました。「これからも地域の人を巻き込んで、子どもを見守る大人を増やす」と未来を語る柴田さんの熱い思いは、現在、教学委員として耕人塾にも生かされています。



### ●個人・グループ活動

「世界に誇れる石巻地域（ふるさと）にしよう！～発信！未来へ～」の具現化に向けて、個人・グループそれぞれで取り組んできた実践活動について、報告書の作成と次回発表会に向けた準備を行いました。



### ●講評（舩田副運営委員長）

最後に、舩田副運営委員長より講評として、塾生の変化、成長について話がありました。



本日の講師に多くの塾生が質問した姿が今までになくよかったこと。自分の姿は、周りの姿に見ることができること（「やさしく」すれば「やさしく」してもらえ、「頑張って」いれば、周りも「頑張る」ようになる）。

そして、閉塾式での発表から、自分自身の成長と、塾生の成長を感じ、確認してほしいという願いが語られました。

## メニュー

ホーム



耕人塾の活動



令和2年度の活動



第6回 閉塾式

第5回

実践活動（ゴミ拾い）

第4回

「笑顔はぐくむ復興の森植樹会」への参加

第3回

第2回

第1回 開塾式

令和元年度の活動



平成30年度の活動



平成29年度の活動



平成28年度の活動



平成27年度の活動



平成26年度の活動



平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞